

自治会員の皆様へ

百合が丘自治会
自治会長 小口愛子

元気なコミュニティ協議会との対応について（ご報告）

日頃より自治会活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、4月の回覧でご案内いたしました当自治会と元気なコミュニティ協議会（以下ゲンコミ）との詳細について会員の皆様へご報告いたします。

【経緯その1】 神奈中路線バス減便等の方針が二宮町に示され、これを凍結するための要望書に連名するよう令和8年1月にゲンコミ側から要請がありました。

自治会として減便等には懸念を持っていましたが、①二宮町地域公共交通活性化協議会に自治会役員が参画し継続審議中であり、その報告が3月末に示されること ②役員会に諮ることなどから、すぐに連名することは難しいと伝えました。

ところが、ゲンコミ側は時間が無いとして、自治会長個人に対し連名要請を繰り返し行い（十数回）自治会長の精神的疲労は相当なまでになり人権擁護委員に相談したうえで医療機関を受診するに至りました。さらに、2月25日にはゲンコミ機関紙No.50号が発行され、自治会長の個人名で「減便の影響はない」「地域ぐるみの取り組みに参加していない」と掲載され（事実無根）自治会の名誉を傷つけました。（ゲンコミホームページにも掲載）

このため自治会として極めて重大な問題であると判断し、弁護士相談を経て抗議文を渡すとともに1か月後にも抗議文の内容を履行するよう申し入れを行いました。

しかしながら、ゲンコミ側の回答は反論のみで、誠実な説明や十分な謝罪が確認できず、問題の解消には至りませんでした。

【経緯その2】 その後の調査により、さらに深刻な事実が明らかとなりました。

当自治会を連名させるため自治会及び自治会長個人名を連名に記載した要望書を無断で作成し、この要望書を確認した他の団体が連名に応じた事実（団体長の証言）や、自治会役員に対し「このままほっておくと笑いものになるよ」などの不適切な発言があったことも判明いたしました。

一連の行為はゲンコミの複数の幹部と情報共有され、外部に漏らさないよう指示まで出されていました。

【関係解消】 役員会において慎重に協議を重ねた結果、令和8年5月1日ゲンコミとの関係を一切解消しましたことをご報告いたします。

なお、関与した一部のゲンコミ幹部は事実関係を認め謝罪したことを申し添えます。